

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)															
ES13D004		学校実践実地研究 (Educational Field Practice and Research)					実習科目 教職実践コース															
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員																
必修	2	1	大学院教育学 研究科	前期		氏名 全教員 E-mail 内線																
授業の概要												・学校現場における教育活動と理論的・実践的な省察を通じて、学校現場における現代的教育課題を発見し、教育実践研究の課題(テーマ)を明らかにすることを目的とする										
具体的な到達目標												DP等の対応(別表参照)										
目標1 実習校の教育活動を観察・体験する視点を設定することができる。												1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標2 設定した視点を踏まえ実習校の教育活動を観察・体験し、それを分析・考察することができる。																						
目標3 各実習校の実践課題を検討し、学校現場における現代的教育課題を発見することができる。																						
目標4 教育実践研究の具体的な課題(テーマ)を設定することができる。																						
目標5																						
目標6																						
目標7																						
目標8																						
目標9																						
目標10																						
授業の内容																						
1 事前指導																						
2 附属幼稚園における実地研究(2日間)																						
3 附属小学校における実地研究(2日間)																						
4 附属中学校における実地研究(2日間)																						
5 附属特別支援学校における実地研究(2日間)																						
6 公立高等学校における実地研究(2日間)																						
7 事後指導																						
8																						
9																						
10																						
11																						
12																						
13																						
14																						
15																						
ラ イ ク ニ テ ン イ グ	A:知識の定着・確認					工 夫 そ の 他 の																
	B:意見の表現・交換																					
	C:応用志向																					
	D:知識の活用・創造																					
時間外学修 の内容と時 間の目安	準備 学修											事後 学修										
教科書	特になし。必要な資料等は、大学より配付。																					
参考書	特になし。必要な資料等は、大学より配付。																					
成 績 評 価 の 方 法 及 び 評 価 割 合	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10										
	実習校における観察・体験への積極的参加度	80%																				
	習日誌や観察記録等の資料作成	20%																				
注意事項																						
備考	・各実習校における実地研究 の振り返りは、「教育実践研究」においてさらに省察を深め、各自の教育実践研究の課題(テーマ)の考案につなげていく。																					
リンク																						
	URL																					

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の实務 経験	古庄一夫（公立特別支援学校教員）、牧英治郎（公立小学校教員）、立川研一（公立中学校教員）

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)															
ES13D004		学校実践実地研究 (Educational Field Practice and Research)					実習科目															
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員																
必修	2	1	大学院教育学研究科	前期		氏名 全教員																
						E-mail 内線																
授業の概要												・学校現場における教育活動と理論的・実践的な省察を通じて、学校現場における現代的教育課題を発見し、教育実践研究の課題(テーマ)を明らかにすることを目的とする										
具体的な到達目標												DP等の対応(別表参照)										
目標1 実習校の教育活動を観察・体験する視点を設定することができる。												1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標2 設定した視点を踏まえ実習校の教育活動を観察・体験し、それを分析・考察することができる。																						
目標3 各実習校の実践課題を検討し、学校現場における現代的教育課題を発見することができる。																						
目標4 教育実践研究の具体的な課題(テーマ)を設定することができる。																						
目標5																						
目標6																						
目標7																						
目標8																						
目標9																						
目標10																						
授業の内容																						
1 事前指導																						
2 附属幼稚園における実地研究(2日間)																						
3 附属小学校における実地研究(2日間)																						
4 附属中学校における実地研究(2日間)																						
5 附属特別支援学校における実地研究(2日間)																						
6 公立高等学校における実地研究(2日間)																						
7 事後指導																						
8																						
9																						
10																						
11																						
12																						
13																						
14																						
15																						
ラーニング	A:知識の定着・確認					工夫 その 他の																
	B:意見の表現・交換																					
	C:応用志向																					
	D:知識の活用・創造																					
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修											事後学修										
教科書	特になし。必要な資料等は、大学より配付。																					
参考書	特になし。必要な資料等は、大学より配付。																					
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10										
	実習校における観察・体験への積極的参加度	80%																				
	習日誌や観察記録等の資料作成	20%																				
注意事項																						
備考	・各実習校における実地研究 の振り返りは、「教育実践研究」においてさらに省察を深め、各自の教育実践研究の課題(テーマ)の考案につなげていく。																					
リンク																						
	URL																					

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の实務 経験	古庄一夫（公立特別支援学校教員）、牧英治郎（公立小学校教員）、立川研一（公立中学校教員）